



紫雲児の心

子どもは地域で育つ

校長 五十嵐 めぐみ

11月は、地域とかかわる活動が多くありました。

11月2日(木)の放課後に、紫雲寺地区松林保全協会の事業として、地域の方と中学生が一緒に学校林の植樹活動を行いました。紫雲寺共同調理場裏手の松林は、紫雲寺中学校の「学校林」なのだそうで、赤松が植えられています。枯れてしまった木もあるため植樹を行うというお話を紫雲寺支所の担当の方からお聞きしました。江戸時代頃から、紫雲寺地域を守るために植えられた松の役割を教えていただき、地域を守る松の植樹作業を、ボランティア委員会を中心に、全校生徒に呼びかけて参加者を募りました。

当日は残念ながら体調不良などで参加できなかった人も何人かいましたが、30名近い生徒が協力してくれて、保全協会の園部会長様や紫雲寺支所の吉田様をはじめ、皆様から丁寧に植え方を教えていただきながら手際よく植えてい



き、作業は、予定した時間より早く、あっという間に終わりました。

作業後に、参加生徒を代表してボランティア委員長の園田陽子さんが、「この活動を通して松への興味が湧きました。これからも、環境保護を意識していきたいです。」とあいさつしました。

11月4日(土)には紫雲寺地区子ども芸能音楽祭が行われ、紫雲寺中学校からは音楽部が参加しました。コロナ禍のため数年ぶりの開催でしたが、音楽部員5名がステージに上がり、立派に演奏しました。さらに、予定にはなかったのですが、演奏後に急遽インタビューをされ、全員が質問を受けました。準備はしていませんでしたが、みんな堂々と答えていましたし、音楽部が全国大会連続出場を目指して頑張っていることも知っていただくことができ、とても貴重な機会となりました。



子どもたちが、地域の中で様々な経験を積みながら着実に成長しているのを感じます。「人」は「人」の「間」で「人間」として育ちます。学校の内外を問わず、「人とのかわり」はとても大切な教育の機会です。地域の皆様の日ごろのご支援・ご協力に感謝いたしますとともに、今後も、地域ぐるみで紫雲寺の子どもたちの人間的成長を支えていただくようお願いいたします。